



エコアクション21  
®環境省  
認証番号 0007563

# エコアクション21 環境経営レポート

## 2024年度

(2024年1月～2024年12月)



## 株式会社 タダノテクノ東日本



作成日： 2025年8月6日

## 【目次】

1. 組織概要	P. 1
<input type="checkbox"/> 組織の概要	
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	
2. 環境実施体制図及び役割・責任・権限表	P. 3
3. 環境経営方針	P. 4
<input type="checkbox"/> 環境理念	
<input type="checkbox"/> 活動方針	
4. 環境経営目標設定表	P. 5
5. 環境経営計画の取組結果 I・II	P. 7
6. 環境経営取組結果の評価と次年度の取組内容	P. 11
7. 環境関連法規	P. 13
<input type="checkbox"/> 適用となる主な関連法規	
<input type="checkbox"/> 違反・訴訟など	
8. 代表者による全体評価と見直し	P. 14

## 【組織概要】

□組織の概要						
(1)	名称及び代表者名 株式会社 タダノテクノ東日本 (TADANO TECHNO EAST Co.,Ltd.) 代表取締役 吉原 哲浩 <a href="https://sys.tadano.co.jp/techno_east/">https://sys.tadano.co.jp/techno_east/</a>					
(2)	所在地					
	本社・新木場工場	東京都江東区新木場2丁目8番10号				
	佐倉工場	千葉県佐倉市大作1丁目8番4号				
	山梨工場	山梨県南アルプス市上今諏訪1139番21号				
	三郷工場	埼玉県三郷市上彦名18番1号				
	大宮工場	埼玉県さいたま市中央区桜丘2丁目10番19号				
	新潟工場	新潟県新潟市西区流通3丁目1番5号				
	仙台工場	宮城県仙台市宮城野区扇町2丁目1番1号				
	秋田工場	秋田県秋田市川尻町字大川反233番213号				
	札幌工場	北海道札幌市西区発寒12条14丁目1073-12				
	苫小牧工場	北海道苫小牧市新開町2丁目6番地7号				
(3)	環境管理責任者氏名及び事務局連絡先					
	責任者	企画支援部	佐々木今日子	TEL：03-5569-2882		
	事務局	企画支援部	佐々木今日子	TEL：03-5569-2882		
(4)	事業内容					
	1. 自動車・建設機械・運送用機械及び特殊車輛の製造・修理・販売並びにレンタル業					
	2. 自動車整備業					
	3. 損害保険に関する代理業					
	4. 自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業					
	5. 総合リース業					
	6. 古物の売買業					
	7. 第一種利用運送事業					
	8. 前各号に付帯する一切の事業					
(5)	事業の規模					
	売上総金額 (2024年1月～2024年12月)				26.11億円	
	2024年12月31日現在					
		本社・新木場工場	佐倉工場	山梨工場	三郷工場	大宮工場
	従業員	28名	17名	6名	11名	12名
	敷地面積	4,875㎡	10,000㎡	1,959㎡	2,314㎡	2,401㎡
	工場建物面積	950㎡	1,723㎡	208㎡	768㎡	370㎡
	事務所建物面積	364㎡	744㎡	76㎡	101㎡	171㎡
		新潟工場	仙台工場	秋田工場	札幌工場	苫小牧工場
	従業員	5名	17名	7名	18名	16名
	敷地面積	817㎡	2,970㎡	1,798㎡	6,611㎡	12,526㎡
	工場建物面積	333㎡	701㎡	409㎡	982㎡	2,276㎡
	事務所建物面積	333㎡	255㎡	120㎡	316㎡	183㎡
		合計				
	従業員	137名				
(6)	事業年度	1月～12月				

# 【組織概要】

## □ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 タダノテクノ東日本

事業所：	本社・新木場工場	東京都江東区新木場2丁目8番10号
	佐倉工場	千葉県佐倉市大作1丁目8番4号
	山梨工場	山梨県南アルプス市上今諏訪1139番21号
	三郷工場	埼玉県三郷市上彦名18番1号
	大宮工場	埼玉県さいたま市中央区桜丘2丁目10番19号
	新潟工場	新潟県新潟市西区流通3丁目1番5
	仙台工場	宮城県仙台市宮城野区扇町2丁目1番1号
	秋田工場	秋田県秋田市川尻町字大川反233番213号
	札幌工場	北海道札幌市西区発寒12条14丁目1073-12
	苫小牧工場	北海道苫小牧市新開町2丁目6番地7号

活動： 1. 自動車・建設機械・運送用機械及び特殊車輛の整備業

企業活動は、弊社HPよりご覧いただけます



**教育・資格・環境・CSR**

教育・資格・環境・CSR

**教育**

当社はタダノの運営工場であり、メーカー主催の技術講習及び他の外部機関での講習会等に参加して日々高い技術力を養っています。また、公的資格取得と外部セミナーにも定期的に参加し人質を高めています。

**安全**

「安全」には、お客様や利用者、それを取り巻く一般の方々の安全を確保する「製品安全」と従業員と施設の安全を確保する「労働安全」の2つを徹底して取り組んでいます。

工場内では、ハイロン設置による「見える化」、ホイッスルによる「聞こえる化」、指差呼称を徹底しています。

**環境**

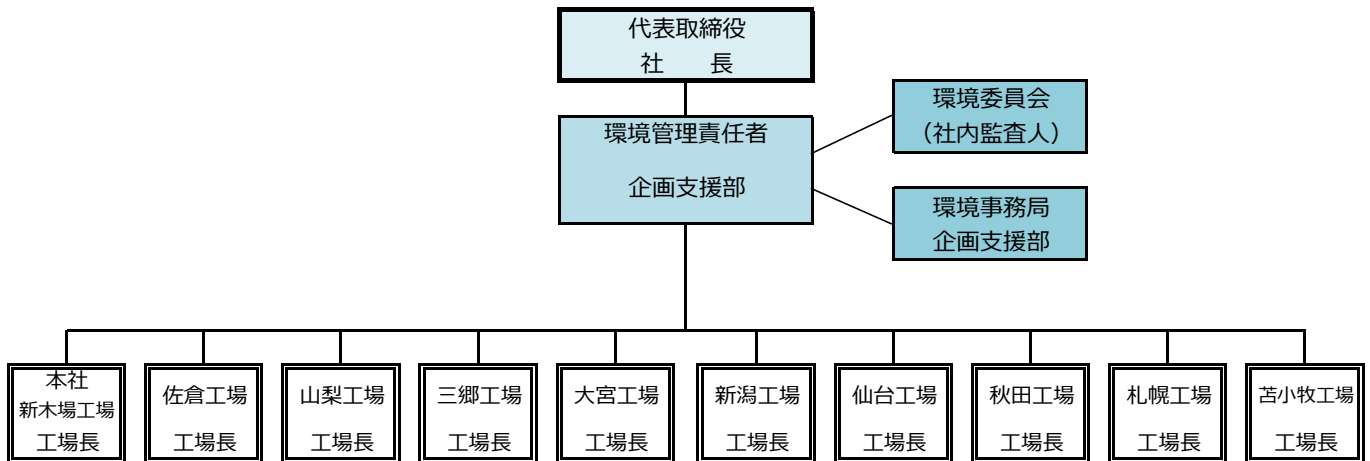
エコアクション21とは【企業・学校・公共機関など】に対して、「環境への取り組みを効果的・効率的・継続的」に行うシステムを構築・適用し、環境への自覚を持ち、結果を取り纏め・評価・報告するための方法として、環境省が制定したエコアクション21ガイドラインに基づき、事業者のための認証・登録制度です。

当社は、自動車、建設機械、運送用機械及び特殊車輛の整備業において環境保全・改善活動を積極的に取り組み、省資源・省エネルギー・廃棄物削減等によるコストダウンを回ると共に、環境経営上のコンプライアンス遵守に努めています。

**5S活動**

安全で働きやすい職場を追求するため、「スッキリ、キレイ」運動、5S活動に取り組み、工場のショールーム化実現を目指しています。

## 【環境実施体制図及び役割・責任・権限表】



### □ 役割・責任・権限

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境委員会 (社内監査人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月開催し、各工場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、業務連絡会の環境事務局</li> <li>全社環境目標、全社環境活動計画書原案の作成</li> <li>全社環境活動の実績集計</li> <li>全社環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>全社環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>全社環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>全社環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
各工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自工場環境負荷の自己チェック及び自工場環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>自工場における環境経営システムの実施</li> <li>自工場における環境方針の周知</li> <li>自工場の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自工場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自工場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自工場の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 【環境経営方針】

### □ 環境理念

当社は、自動車・建設機械・運送用機械及び特殊車輛の整備業において環境保全・改善活動を積極的に取り組み、省資源・省エネルギー・廃棄物削減等によるコストダウンを図ると共に、環境経営上のコンプライアンス遵守に努めます。

### □ 活動方針

1.	環境関連法規等の遵守に取り組みます。
2.	CO2の排出削減に取り組みます。
3.	水の使用量削減と排水管理に取り組みます。
4.	廃棄物の排出削減と適切処理に取り組みます。
5.	化学物質の使用量削減と管理に取り組みます。
6.	環境負荷を意識した3Rの推進に取り組みます。
7.	5S活動を徹底し作業効率を高めます。
8.	環境に配慮したサービス事業として、メーカー委託業務の完全実施に努めます。
9.	全従業員に環境方針と環境経営計画の周知と意識向上を図り、全社一丸となり 環境経営の継続的改善に取り組みます。
10.	SDGsへの取り組みとリンクさせ脱炭素化へ取り組みます。

株式会社 タダノテクノ東日本  
代表取締役 吉原 哲浩

改訂日 2019年04月01日  
改訂日 2018年04月01日  
制定日 2010年10月01日

【**全社環境経営目標設定表**】

環境活動目標	単位	2022年度実績	目標値（基準年：2022年度）					
			2023年度		2024年度		2025年度	
			削減目標	数値目標	削減目標	数値目標	削減目標	数値目標
①CO2削減 ・電力使用量の削減	kwh/百万円	24,670.69	1.0%削減 24,423.98		2.0%削減 24,177.28		3.0%削減 23,930.57	
	kg-CO2/百万円	11,482.69	11,367.86		11,253.04		11,138.21	
・自動車燃料使用量の削減	ℓ/百万円	2,540.15	2,514.75		2,489.35		2,463.95	
	kg-CO2/百万円	6,766.79	6,699.12		6,631.45		6,563.79	
・化石燃料(灯油)使用料削減	ℓ/百万円	1,589.97	1,574.07		1,558.17		1,542.27	
	kg-CO2/百万円	3,895.51	3,856.55		3,817.60		3,778.64	
CO2排出量合計	kg-CO2	517,735.63	512,558.3		507,380.9		502,203.6	
②廃棄物排出量 ・一般廃棄物の削減	kg/百万円	1,093.70	1,082.76		1,071.83		1,060.89	
	kg/百万円	5,842.58	5,784.15		5,725.73		5,667.30	
③水の使用量削減	m <sup>3</sup> /百万円	149.91	1.0%削減 148.41		2.0%削減 146.91		3.0%削減 145.41	
④化学物質使用量の削減	kg/百万円	125.65	1.0%削減 124.39		2.0%削減 123.14		3.0%削減 121.88	
⑤5S活動		—	指摘事項削減		指摘事項削減		指摘事項削減	
⑥サービス事業 (メーカ委託事業)								
1) 無償点検完全実施		74.7%	100.0%		100.0%		100.0%	
⑦環境社会検定受験 (eco検定)		エコ-プル 計12名	1名受験 エコ-プル 計13名		1名受験 エコ-プル 計14名		1名受験 エコ-プル 計15名	

## 【環境経営目標の取組結果-I】

環境活動	単位	基準年 2022年度	削減目標 数値目標	2024年度 取組結果		
				10工場 実績	増減 (対目標値)	達成率
			<b>【2.00%削減】</b>		増↑×, 減↓○	
1. CO <sub>2</sub> 削減						
① 電力使用量削減 ・不要照明の消灯 ・エアコンの温度管理 ・使用時以外はOA機器の待機電源を落とす ・所内に節電の啓発表示を行う	kwh/百万円	24,670.69	24,177.28	21,384.98		
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	11,482.69	11,253.08	9,474.96	1,778.12 ↓ ○	118.8%
	使用量(kwh)	563,857.00		524,644.00	▲ 39,213.00	
	料金(円)	¥17,152,027		¥16,783,034	¥-368,993	
注1・注4						
② 自動車燃料使用量削減 ・車輛点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの徹底 ・法令順守の安全運転を行う	ℓ/百万円	2,540.15	2,489.35	2,389.69		
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	6,766.79	6,631.44	4,856.00	1,775.44 ↓ ○	136.6%
	使用量(ℓ)	53,479.08		44,585.20	▲ 8,893.88	
	料金(円)	¥7,131,844		¥6,047,692	¥-1,084,152	
注2・注4						
CO <sub>2</sub> 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	517,735.63		472,027.35	▲ 45,708.28	
2. 廃棄物排出量削減						
① 一般廃棄物分の削減 ・ペーパーレス化の徹底 ・両面及び裏面コピーの励行 ・使い捨て製品の使用・購入の抑制	kg/百万円	1,093.70	1,071.82	1,028.40	43.42 ↓ ○	104.2%
	排出量(kg)	27,040.80		29,031.05	1,990.25	
	処理費用(円)	¥1,182,898		¥1,469,365	¥286,467	
注3・注4						
② 産業廃棄物分の削減 ・循環資源と産業廃棄物の分別の徹底 ・産業廃棄物の分別の徹底 ・油圧部品は再生利用を推進	kg/百万円	5,842.58	5,725.76	4,618.47	1,107.29 ↓ ○	124.0%
	排出量(kg)	131,854.60		117,171.62	▲ 14,682.98	
	処理費用(円)	¥6,811,443		¥5,810,506	¥-1,000,937	
注3・注4						
3. 水使用量の削減 ・場内の水道ホース先端にストップノズル設置 ・所内に節水の啓発表示を行う	m <sup>3</sup> /百万円	149.91	146.86	107.90	38.96 ↓ ○	136.1%
	排水量(ℓ)	3,576.50		3,030.50	▲ 546.00	
	料金(円)	¥1,452,776		¥1,337,437	¥-115,339	
注4						
4. 化学物質使用量の削減 ・溶剤等の危険物庫保管を徹底し揮発防止 ・在庫管理の徹底	kg/百万円	125.65	123.13	106.80	16.33 ↓ ○	115.3%
	使用量(kg)	3,859.50		3,967.20	107.70	
注4						
7. 5S活動		整理整頓による作業効率を考えた環境活動	指摘事項	①安全パトロール：年1回 ⇒ TOPパトロール：全拠点計45回実施 ②共用工具の整理整頓 ⇒ TOPパトロールによる指導・改善 ③玉掛用具の管理 ⇒ 6・11月の一斉点検と記録表管理 ○		
8. サービス事業 (メーカー委託業務) 1) 無償点検完全実施		(2022年度実績) 74.7%	100.0%	73.5%	748/1,018	×
9. 環境社会検定試験受験 (eco検定)		受験者1名 IIB <sup>®</sup> -ブル累計10名	受験者0名 IIB <sup>®</sup> -ブル累計13名	受験者0名 【IIB <sup>®</sup> -ブル累計：12名】		

注1 : 電力二酸化炭素排出量算定係数：「東京電力 0.468 (新木場・佐倉・山梨・三郷・大宮)」「東北電力 0.522 (新潟・仙台・秋田)」「北海道電力 0.643 (札幌・苫小牧)」

注2 : 単位当たり二酸化炭素排出量：ガソリン2.322 軽油2.619 (ガソリン+軽油で算出 (灯油使用量は僅かの為、含まない))

注3 : 一般廃棄物：事務所排出廃棄物、産業廃棄物：工場排出廃棄物 (再生循環排出は含まない)

注4 : 原単位

10工場：新木場・佐倉・山梨・三郷・大宮・新潟・仙台・秋田・札幌・苫小牧 (札幌・苫小牧 2018年4月～)

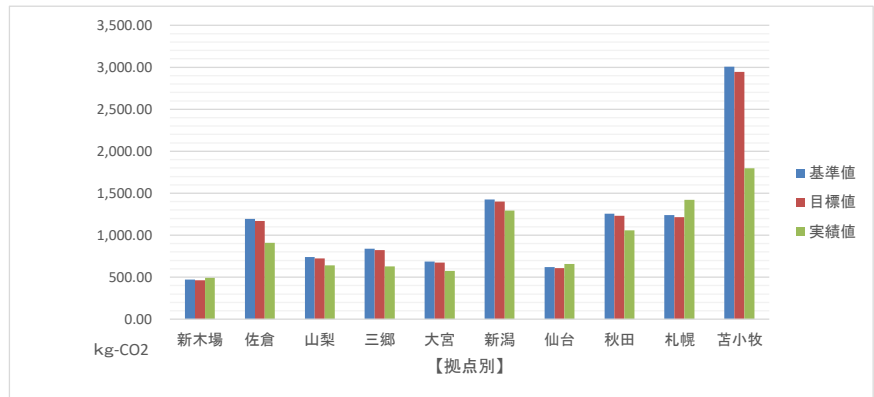
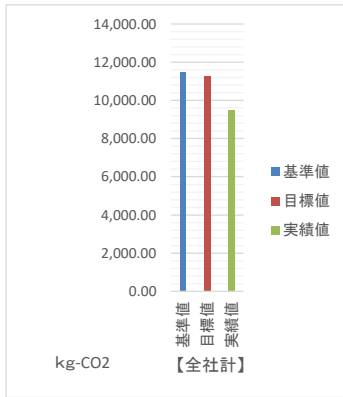
※各使用料金及び処理費用につきましては、2019年度より集計

## 【環境経営目標の取組結果- II】

### ◆電力の削減（原単位）

全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧
基準値	11,482.69	472.74	1,195.00	739.44	837.80	685.77	1,427.37	619.87	1,258.18	1,241.26	3,005.26
目標値	11,253.08	463.28	1,171.10	724.65	821.05	672.05	1,398.85	607.47	1,233.03	1,216.45	2,945.15
実績値	9,474.96	491.50	908.86	642.30	628.40	575.90	1,293.20	655.70	1,058.40	1,422.00	1,798.70
達成率	118.8%										

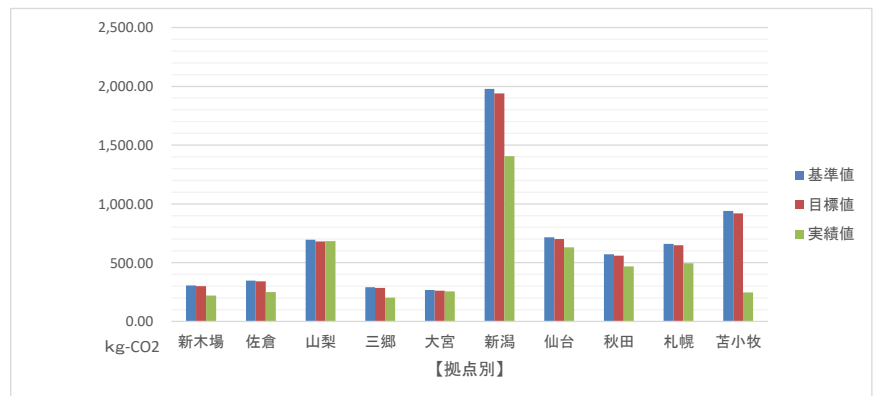
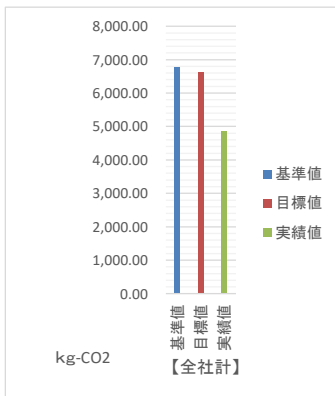
※二酸化炭素排出係数 基準年2022年：東京電力 0.441(新木場・佐倉・山梨・三郷・大宮) 東北電力 0.457(新潟・仙台・秋田) 北海道電力 0.549(札幌・苫小牧)



### ◆自動車燃料の削減（原単位）

全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧
基準値	6,766.79	305.16	347.52	694.50	290.64	266.16	1,978.01	714.83	570.36	660.84	938.77
目標値	6,631.44	299.06	340.55	680.61	284.82	260.84	1,938.45	700.53	558.95	647.62	920.01
実績値	4,856.00	221.05	250.53	681.97	203.85	255.74	1,404.54	629.33	468.79	494.36	245.84
達成率	136.6%										

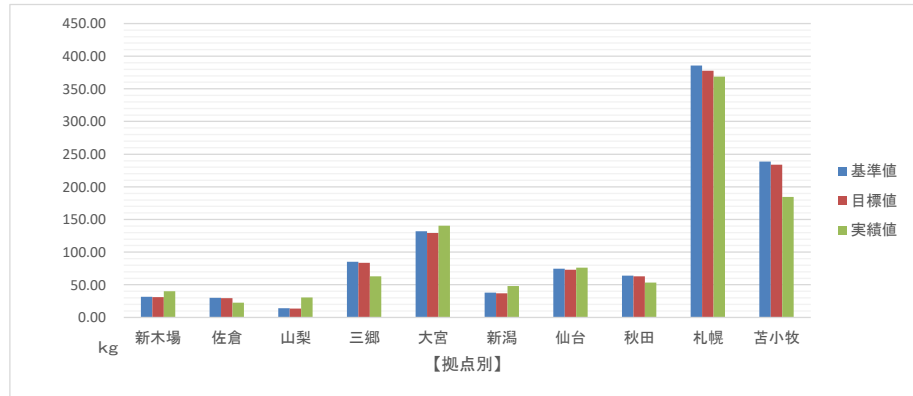
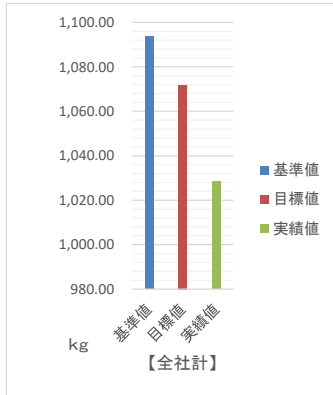
※二酸化炭素排出係数：基準年2022年 ガソリン 2.322 軽油 2.619



## 【環境経営目標の取組結果- II】

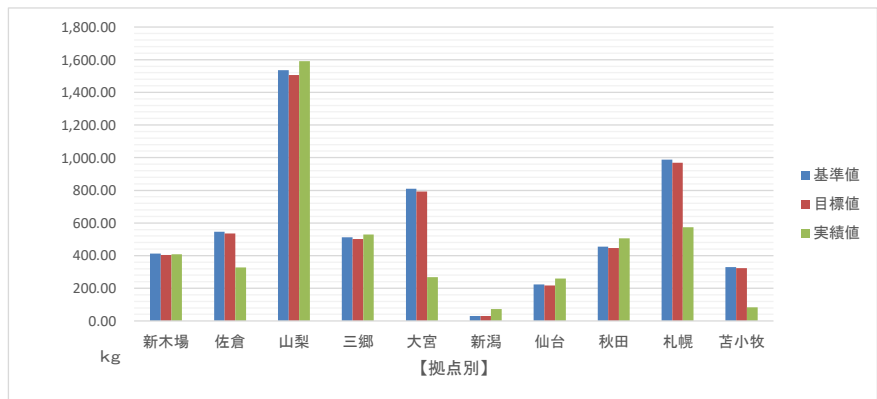
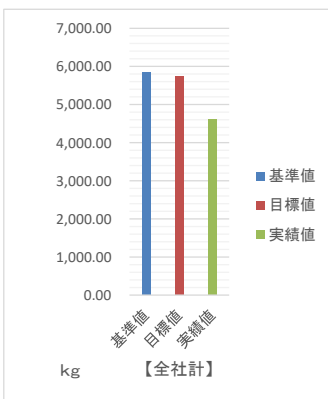
### ◆一般廃棄物の削減 (原単位)

全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧
基準値	1,093.70	31.61	29.92	13.94	85.29	131.81	37.82	74.76	64.20	385.59	238.76
目標値	1,071.82	30.99	29.32	13.67	83.58	129.16	37.05	73.27	62.93	377.86	233.99
実績値	1,028.40	40.00	22.90	30.60	62.90	140.30	48.10	76.40	53.60	368.80	184.80
達成率	104.2%										



### ◆産業廃棄物の削減 (原単位)

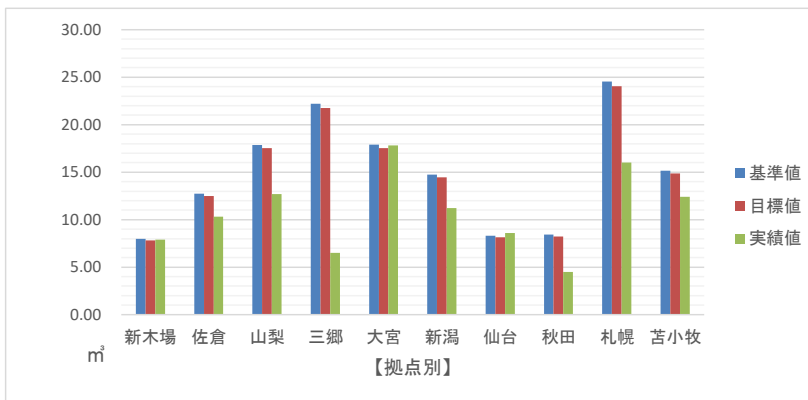
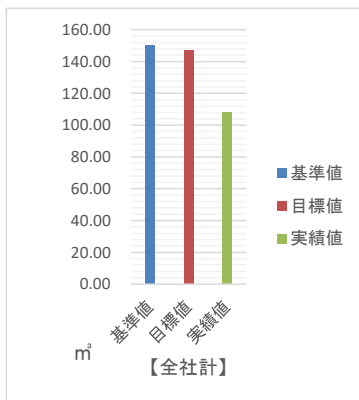
全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧
基準値	5,842.58	412.12	545.85	1,536.59	511.86	808.81	30.31	222.63	455.39	988.57	330.45
目標値	5,725.76	403.89	534.94	1,505.87	501.63	792.63	29.70	218.18	446.28	968.79	323.85
実績値	4,618.47	407.50	328.07	1,591.80	529.00	267.30	72.10	260.00	506.90	573.40	82.40
達成率	124.0%										



## 【環境経営目標の取組結果- II】

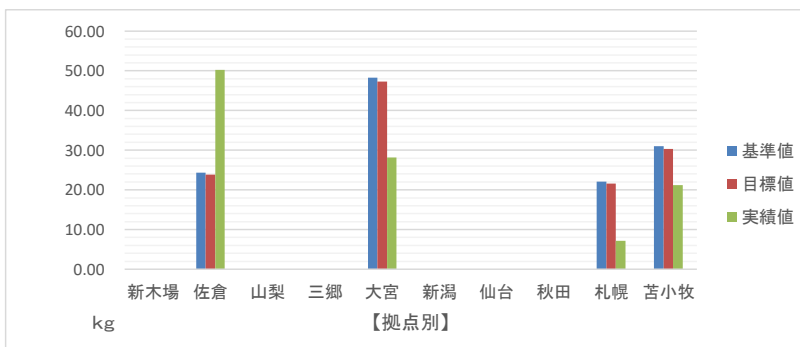
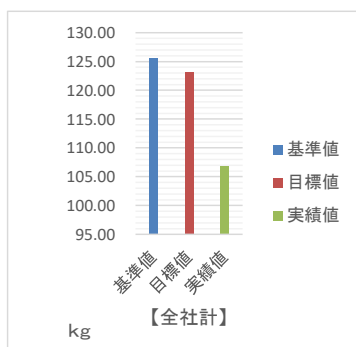
### ◆水使用量の削減（原単位）

全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧	
基準値	149.91	7.99	12.73	17.88	22.22	17.89	14.74	8.32	8.42	24.55	15.17	149.91
目標値	146.86	7.82	12.48	17.52	21.77	17.52	14.45	8.15	8.24	24.04	14.87	146.86
実績値	107.90	7.90	10.30	12.70	6.50	17.80	11.20	8.60	4.50	16.00	12.40	107.90
達成率	136.1%											



### ◆化学物質使用量の削減（原単位）

全10拠点		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧	
基準値	125.65	0.00	24.35	0.00	0.00	48.29	0.00	0.00	0.00	22.05	30.96	125.65
目標値	123.13	0.00	23.87	0.00	0.00	47.30	0.00	0.00	0.00	21.61	30.35	123.13
実績値	106.80	0.00	50.20	0.00	0.00	28.20	0.00	0.00	0.00	7.20	21.20	106.80
達成率	115.3%											



### ◆サービス事業

※メーカー委託業務の完全実施 目標値：100.0%

1) 無償点検の完全実施

全社		新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧	
対象台数	1,018	185	147	57	87	169	29	122	62	109	51	#####
実施台数	748	67	114	52	76	111	29	90	57	102	50	748.00
実施率	73.5%	36.2%	77.6%	91.2%	87.4%	65.7%	100.0%	73.8%	91.9%	93.6%	98.0%	

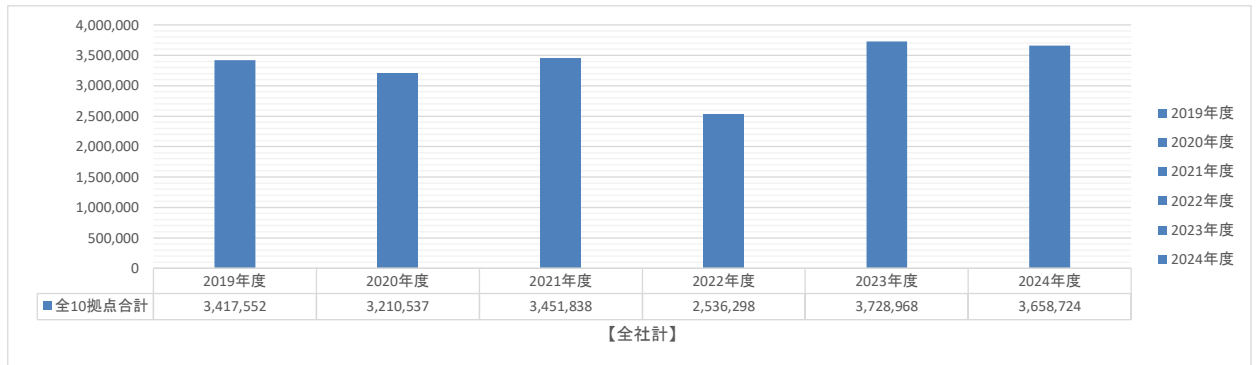
## 【環境経営目標の取組結果- II】

### ◆売上高 推移

(千円)

	全10拠点合計
2019年度	3,417,552
2020年度	3,210,537
2021年度	3,451,838
2022年度	2,536,298
2023年度	3,728,968
2024年度	3,658,724

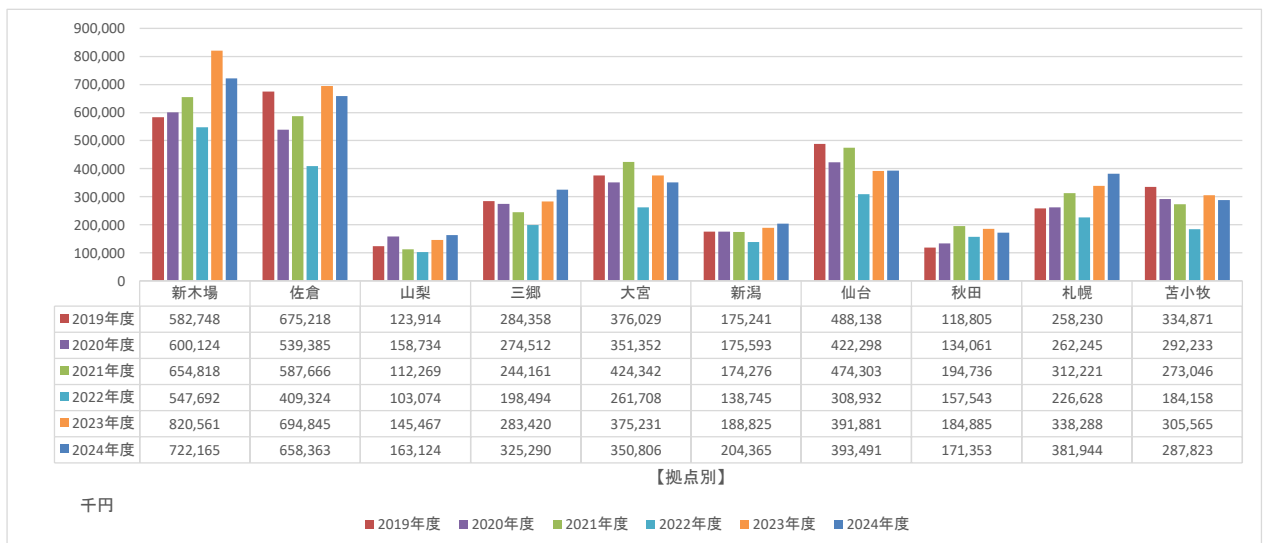
※決算期変更のため2022年4月～12月



(工場別)

(千円)

	新木場	佐倉	山梨	三郷	大宮	新潟	仙台	秋田	札幌	苫小牧
2019年度	582,748	675,218	123,914	284,358	376,029	175,241	488,138	118,805	258,230	334,871
2020年度	600,124	539,385	158,734	274,512	351,352	175,593	422,298	134,061	262,245	292,233
2021年度	654,818	587,666	112,269	244,161	424,342	174,276	474,303	194,736	312,221	273,046
2022年度	547,692	409,324	103,074	198,494	261,708	138,745	308,932	157,543	226,628	184,158
2023年度	820,561	694,845	145,467	283,420	375,231	188,825	391,881	184,885	338,288	305,565
2024年度	722,165	658,363	163,124	325,290	350,806	204,365	393,491	171,353	381,944	287,823



## 【環境経営取組結果の評価と次年度の取組内容】

### 1 CO<sub>2</sub>削減取組結果の評価

- 電力は、目標達成率118.8%と達成した。  
全社で取り組んできた照明やエアコンの節電と残業時間抑制の取組みを継続したこと、特に苫小牧工場が目標値に対し163.7%の削減達成で節電意識が高まっている。シーズンオフ、未使用時には電源OFFが徹底されてい北海道は厳しい暑さと寒さで冷房・暖房の使用料が増えるが電子監視モニターによる「見える化」で使用量を意識している。
- 自動車燃料は達成率136.6%で目標達成。  
緊急出張、県外出張が増加している工場もあるが、お客様への工場入庫の促進による近隣出張の減少が貢献していると思われる。また、社有車の必要最低限の利用・計画的な利用・アイドリングストップ・エコドライブ・燃費に関わる整備の継続実施等、意識向上が要因。  
苫小牧工場は、社有車の台数を減らす計画あり。

### 2 廃棄物排出量削減取組結果の評価

- 一般廃棄物は達成率 104.2%で目標達成。  
苫小牧工場の削減は目標値に対し126.6%達成だが、札幌工場が相変わらず排出量が多い。  
一般廃棄物を有価物として処理できないか、再度見直す必要がある。  
引き続き、裏紙使用の促進、シュレッダー処理、分別強化等の管理意識向上が必須。
- 産業廃棄物は削減の取組みが定着し、目標達成率は124.0%で目標達成。  
山梨工場の排出量が相変わらず突出していて、目標達成率は94.6%の未達。引き続き分別強化で取り組む。  
苫小牧工場の削減は目標値に対し大幅な達成率。分別化の徹底と定着に向けた対策を継続していく。

### 3 水使用量削減取組結果の評価

- 水使用量削減は達成率136.1%で目標達成。  
各拠点ともに、洗車前の拭き取りや油を垂れ流さない行動は全社的に定着している。  
スチーム洗浄使用時間短縮、節水の呼びかけ、蛇口の締め付け確認、は継続している。  
洗車機ホースの劣化による漏水などにも気を配り、定期的なメンテナンスが必須。  
秋田工場は節水を徹底し183.1%の達成率となった。蛇口閉め忘れは、退社時に常に確認継続している。  
札幌工場は、150.2%の達成率。新工場になり洗濯機の使用が削減され節水につながった。蛇口部に節水啓発表示をし節水意識を高めている。

### 4 化学物質使用量削減取組結果の評価

- 化学物質使用量削減は達成率115.3%で目標達成。  
佐倉工場は塗装売上維持のため、TM本体塗装や中古車全塗装を取り込んだことやリニューアル整備塗装が増えたた使用量が増大した。業務形態の変化においても、常に削減意識をもって取り組みたい。  
札幌工場は、塗装を外注し、水性塗料及び特価物非該当塗料の使用により、溶剤使用量を大幅減を継続中。  
大宮工場は、適正保管料を把握し、使用量削減の意識を高め取り組んでいる。

## 【環境活動取組結果の評価と次年度の取組内容】

### 5 5 S 活動取組結果の評価

- 2024年度も吉原社長によるトップパトロールを各拠点 1 回／年に設定した。  
計画通りにパトロールすることはできなかったが概ね達成できたと思われる。各拠点において指摘事項への対応も適時実施し、スピーディーに改善が進んでおり意識の向上がみられる。  
内部環境監査においては、他拠点監査を実施し、是正処置・予防処置報告書を作成した。  
次年度の取組内容：①トップパトロールの継続および拠点独自の活動展開。  
②内部監査員による他拠点監査の計画・実施（実施拠点を変更）

### 6 サービス事業取組結果の評価

- × メーカー委託業務の無償点検については実施率73.5%で目標未達。  
各拠点内で、実施に繋がらない要因を都度共有し、課題解決に向け、担当者、フロント、タダノサービス員との連携をさらに強化し、実施率アップに努めたい。  
次年度の取組内容：施策の継続および業務改善に取組み無償点検を完全実施。  
実施率が1番低かった新木場工場は、全工場の実施率を牽引していけるよう本社としての取り組み強化を促進していく。

### 7 環境社会検定試験受験（eco検定）の結果

- × 2024年度の環境社会検定試験（eco検定）受験者は0名。  
2024年12月31日現在のエコピープル在籍者は12名。  
次年度の取組内容：各工場 1 名以上の配置が出来るようeco検定受験をサポート。

## 【環境関連法規】

### □適用となる主な関連法規

法律等の名称	該当する活動	評価判定	
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙くず、繊維くず、木くず、生ごみなど)の適正処理 ・搬出作業証明書の管理	○	
	産業廃棄物(金属類・廃プラ類・廃ガラス・廃油・木製パレット)の適正処理 及び「水銀使用製品産業廃棄物」の取扱いの厳守 ・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の管理	○	
	廃棄物の保管基準 ・各種表示板の掲示(60cm×60cm以上) ・飛散・浸透防止により衛生管理	○ ○	
	消 防 法	少量危険物の貯蔵・取扱 ・指定数量の管理と清掃	○
	下水道法	排水の適正処理 ・水素イオン濃度及び沃素消費量の管理	○
	騒音・振動規制法	空気圧縮機の適正な設置	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検 ・7.5Kw以上は定期点検	○	

環境関連法規は、国及び各都道府県の条例を遵守致します。

### □違反・訴訟など

環境関連法規及び条例への違反はありません。

なお、訴訟及び関係機関等からの指摘は過去3年間ありません。

## 【代表者による全体評価と見直し】

### (1) 全体評価

24年度は、環境経営目標を2022年度結果を基準として2%削減に取組み、概ね達成することが出来た。2022年基準となり2年目で目標値が更に厳しくなった中、継続して全社で確実に取組むことが出来たと感じております。昨年の中間審査では、A判定の改善事項を3項目いただきましたが全て確認し改善しております。また、当該内容は全工場で情報共有し、それぞれ確認・対応を行い、各工場とも取組む目線がレベルアップしたと判断しております。しかし、昨年に引き続きサービス事業への取組みとECO検定取得者増は未達成となり、課題を残しました。例年通り、コンプライアンスを土台とし安全・品質・効率をコアバリューとした事業活動と合わせ、環境活動に取組んだことで企業の社会的責任（CSR）を果たせたと判断します。

25年度は、22年度実績を基準として3期目の取組みとなりますので、引き続き全社員が取組みを理解し、一丸となり社内コミュニケーションを図り、全員参加の環境活動を行います。そのための情報共有と見える化、教育・訓練を継続します。また、徐々にではあるがSDG'sへの取組みとリンクさせ脱炭素化へ取組みを進めております。

### (2) 見直しの結果

事業活動に係る環境関連法規や条例に抵触する事項は無く、外部情報としての指摘事項も無かったが引き続き関連情報の入手や各種届出更新等に積極的目付計画的に取組み、法規等の遵守徹底に傾注する。

- ① CO2の排出では、電力使用量削減は引き続き取組んでいる照明やエアコン等の節電、残業時間の抑制等の活動を継続し達成率118.8%となった。一方、自動車燃料使用量も、一部に出張修理の増加等で使用量増加も見られるがお客様の車両を工場へ入庫促進等により社有車の使用をミニマイズするなど、削減に繋げることが出来た。気候変動による空調機器の使用量の増加が予想される今期も、先期より更にUPした削減率を環境目標とし取組む。
- ② 各工場で引き続き5S活動強化に加え、廃棄物削減への取組みが定着・継続され、更に有価物と廃棄物の分別も確実に実施した結果、一般廃棄物は計画達成率104.2%となった。まだまだ排出量の多い札幌工場の削減率を高めたい。一方、産業廃棄物は計画達成率124.0%となり昨年以上の削減を実施することが出来た。しかし、例年排出量の多い山梨工場の改善をターゲットとし、今期も5S活動の継続と分別の徹底による排出量削減に取組む。
- ③ 水使用量は、日頃取組んでいる洗車前の油の拭き取りやスチーム洗車時間の短縮、節水・漏水対策の成果により、計画達成率は136.1%となった。しかし、新木場、大宮、仙台は僅かではあるが計画未達となった。改めて基本に忠実な対応を徹底し是正を図りたい。引き続きデータ管理と情報共有により、社員の節水へのマインドを高めた行動を徹底し、目標達成に向け全社で取組みます。
- ④ 化学物質の削減は、佐倉工場の塗装がTM本体塗装、中古車塗装、リニューアル整備後塗装等で業務量が増加したことから使用料増加に繋がった。一方札幌工場では塗装の外注化を図り、水性塗料の使用を増やして使用量削減に努め大幅削減に繋がった。結果は115.3%の計画達成であり、引き続き塗装業務の効率化で使用料削減に注力していきます。
- ⑤ 5S活動の確認は、トップパトロールを四半期毎に各拠点で実施しております。決めた回数100%実施出来ていないが各工場の“スッキリ、キレイ”に対する取組みは一定レベルを維持出来ており、5S活動が展開出来ている結果である。今期は四半期毎のトップパトロールを継続するとともに、上部団体の安全衛生チームのパトロールを計画しており、いつもと異なる目線も活用してチェックし、より良い体制にしていきたい。
- ⑥ メーカー委託業務の無償点検実施率は73.5%と昨年度実績から▲3.3%となり目標を達成出来なかった。対象台数が108.8%と増加したこと、一般業務量の増加等で十分な取組みが出来ず実施率の低下となり残念です。対策として専任者を設ける工場もあり、続き取組みを強化し・確認をしながら早期の完全実施を目指して取組む。特に低迷している新木場、三郷工場、大宮工場の対応に注力する。
- ⑦ 2024年度は、『ECO検定』の受験者はゼロとなったが、ECOpeopleは全社で12名を維持。基本を理解した人材を増やすため内部監査員の取得も検討し、引き続きECO検定を受験出来るよう支援を継続していきたい。

2025年8月4日

株式会社タダノテクノ東日本  
代表取締役社長 吉原 哲浩